

『四万十川ニュース Vol. 9』について

今月は2月9～10日に、四万十つるの里づくり会のメンバーが日本最大のツルの越冬地、鹿児島県出水に視察に行ってきました。この日、今季最高羽数11,532羽のナベヅルやマナヅルが私達を迎えてくれました。また、2月19～20日には橿原町において、「第6回四万十ルネッサンス協議会」が開催されました。この協議会は、流域の首長、住民、漁協、森林組合、四電、学識経験者、高知県、国土交通省の委員で構成され、四万十川に関する全般的な環境上の課題やその解決に向けた取り組みを行うため、平成14年3月に設置されています。

平成19年2月21日
中村河川国道事務所

問い合わせ先

国土交通省 中村河川国道事務所

TEL (0880) 34 - 7301 [代表]

副 所 長 森本 精郎 (内線204)

事業対策官 生田 利浩 (内線208)

調査第一課長 片山 和夫 (内線351)



四万十川ニュース Vol.9

中村河川国道事務所 平成 19年2月21日

ツルの越冬地に行ってきました。

2月9～10日四万十つるの里づくり会のメンバーが日本最大のツルの越冬地、鹿児島県出水に視察に行ってきました。この日、今季最高羽数11,532羽のナベツルやマナヅルが私達を迎えてくれました。



野鳥の自然観察会開催

2月18日、四万十市間崎「四万十川野鳥自然公園」で、「土ほしもつけの会」メンバーの田城松幸さん（高知県自然観察指導員）が中心となって、野鳥観察会を開催しました。

ツル展望所



ざまにおる！

10シーズン1万羽を越す



四万十川自然観察会

出水市ツル博物館の職員から説明を受ける四万十つるの里づくり会の参加者

四万十つるの里づくりの会は、市民のみなさんのご協力により、ツルが安心して冬を過ごせる里山づくりを進め、地域の活性化を目指し活動しています。



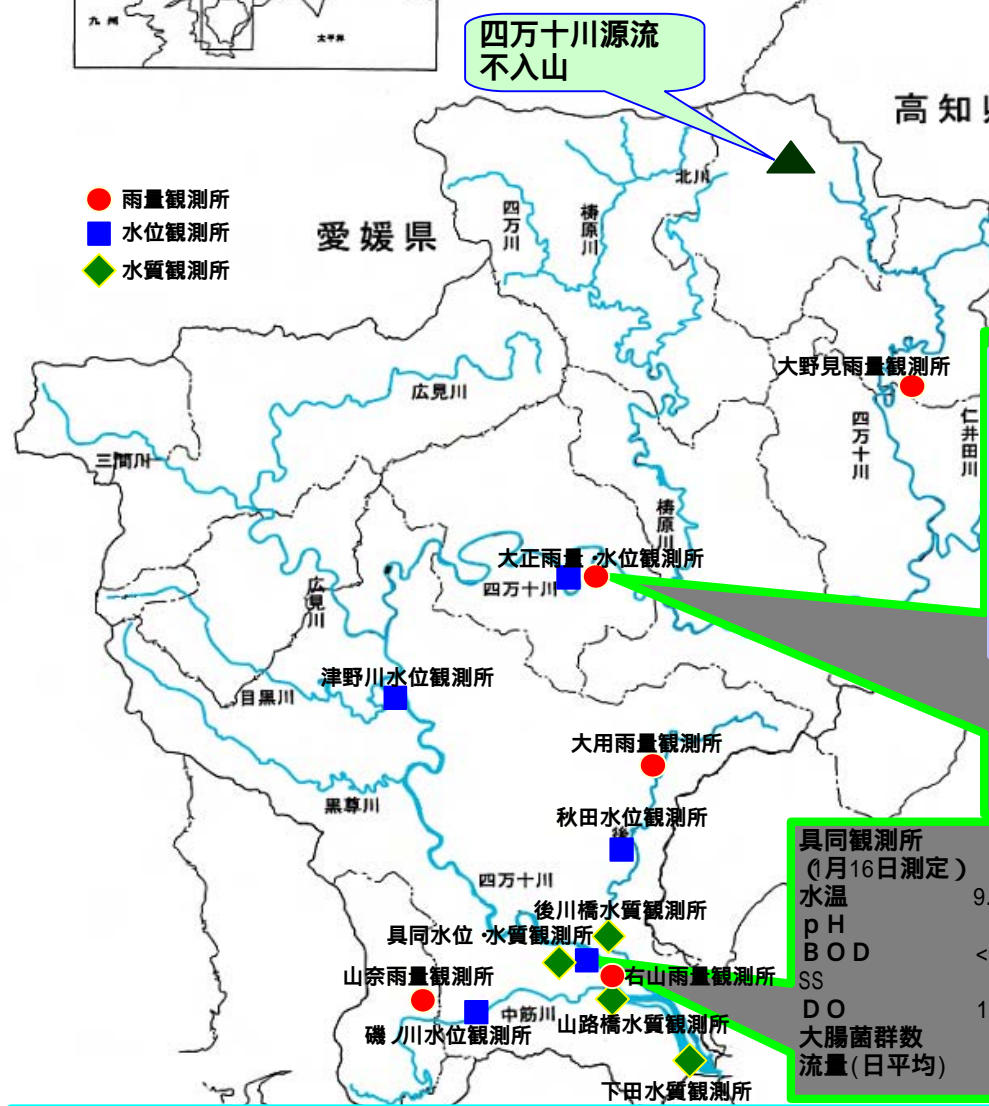
四万十川ネッサンス協議会開催

2月19～20日 橋原町において、「第6回四万十川ネッサンス協議会」が開催されました。この協議会は、流域の首長、住民、漁協、森林組合、四電、学識経験者、高知県、国土交通省の委員で構成され、四万十川に関する全般的な環境上の課題やその解決に向けた取り組みを行うため、平成14年3月に設置しました。初日、地域づくりや新エネルギー政策の取り組みについて先進事例の発表があり、

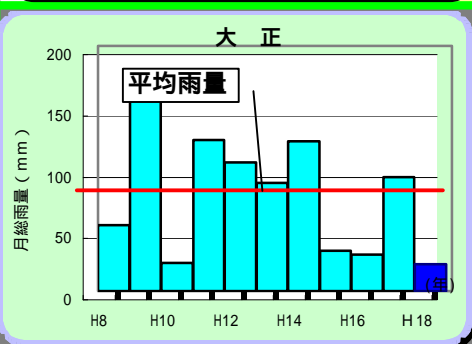
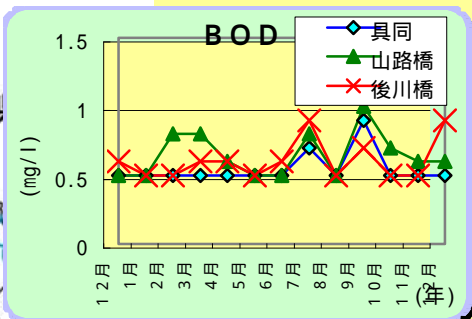
2日目は、30～40年前からの四万十川流域の変化について、1.山が荒れた。2.水が減った。3.水が汚くなった。4.魚が獲れなくなった。ことなどについて議論されました。

四万十川に関するお気付きの点や、お問い合わせは
中村河川国道事務所 調査第一課までお願いします。
TEL0880-34-7301
「四万十川ニュース」は、中村河川国道事務所HPに掲載しています。
<http://www.skr.mlit.go.jp/nakamura/index.html>

1月の水文・水質情報



四万十川源流
不入山



大正雨量観測所
1月雨量は22mmであり、過去10年の平均(84mm)の約2.6%とかなり少ない状況です。(過去10年で最小)

具同観測所 (1月16日測定)

水温	9.3
pH	7.7
BOD	<0.5 mg/l
SS	<1 mg/l
DO	11.8 mg/l
大腸菌群数	79 MPN/100ml
流量(日平均)	13.0 m ³ /s

BOD基準値

四万十川	1.0 mg/l以下
後川	2.0 mg/l以下
中筋川	3.0 mg/l以下

測定値は全て速報値です。

トピックス

水位観測所について

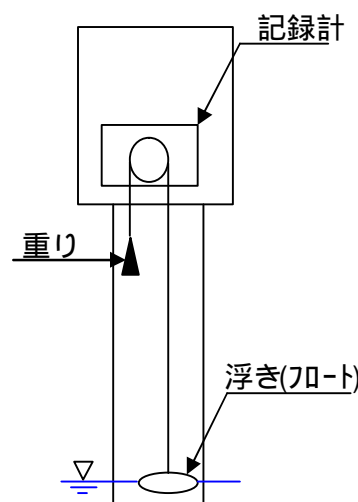
現在四万十川の水位を監視する為に流域内に多くの水位観測所を設置しています。四万十川橋(赤鉄橋)下流川歩道にも具同水位観測所が設置されています。中の仕組みは浮きとそれより少し軽い重りが滑車にぶら下がっていて水位変動に合わせて上下して滑車についている記録計に記録される仕組みです。

また、外にも水位計にはリードスイッチ式、水圧式、等の種類もあります。

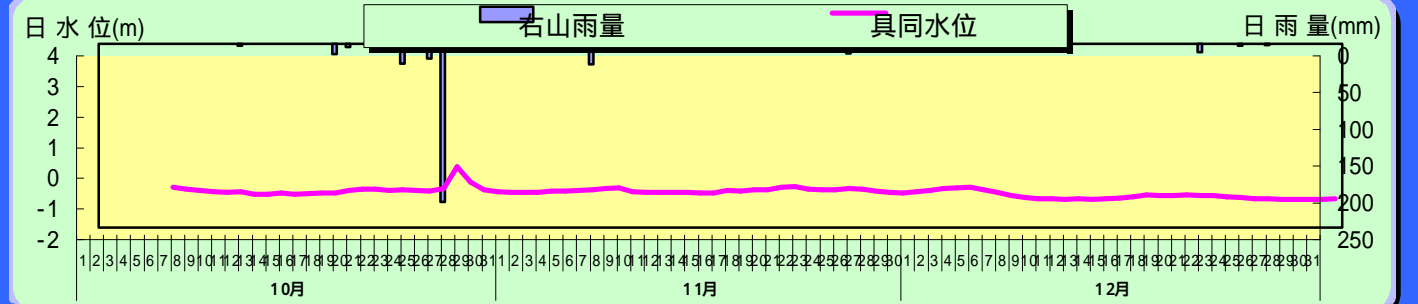
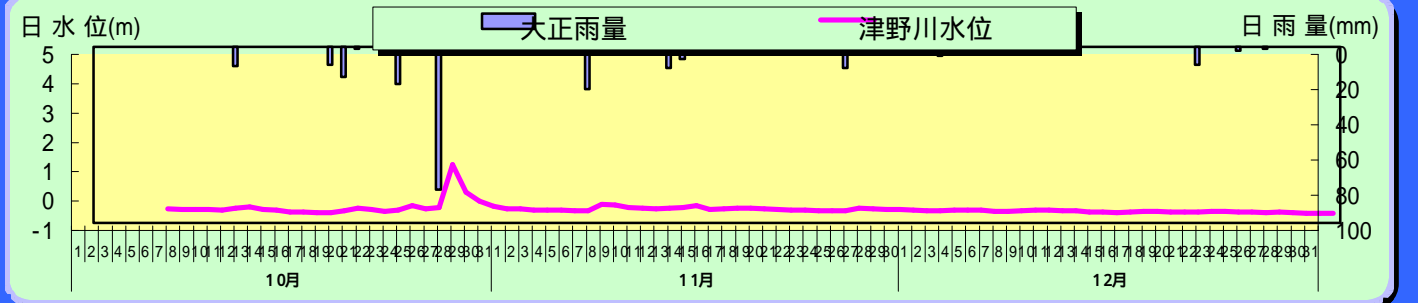
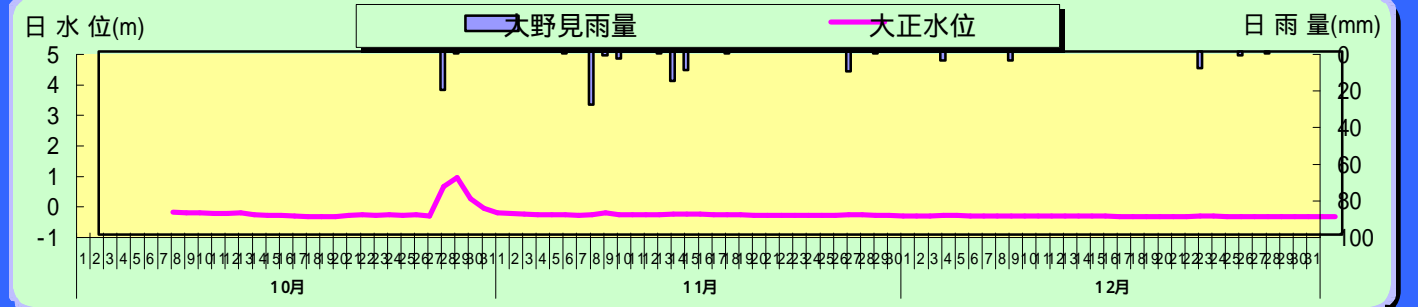
多くの水位観測所で記録された水位は無線で中村河川国道事務所に送られて洪水時の防災等に役立てられています。



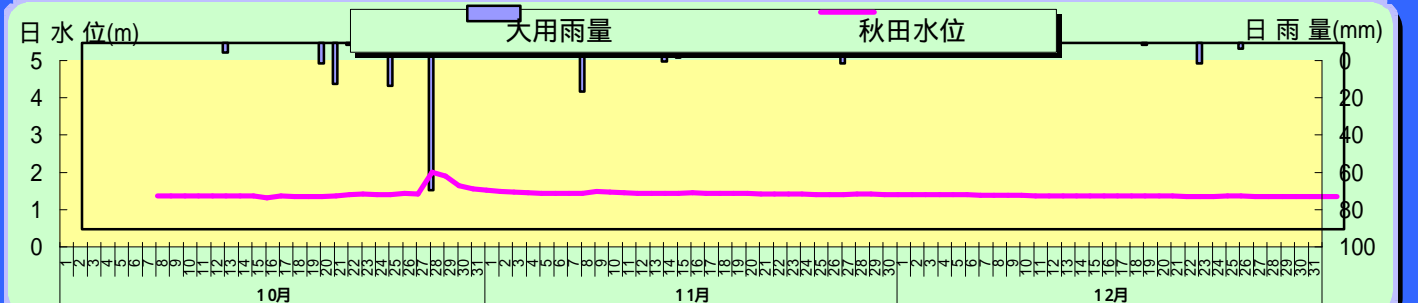
四万十川橋(赤鉄橋)に設置している水位観測所



四万十川 雨量・水位データ



後川 雨量・水位データ



中筋川 雨量・水位データ

